

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 46番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 140番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 133番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ 復活以降の主の現れ方(ルカ 24:13-35)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 313番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

どうか、___の主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊を___に賜わって神を認めさせ、___の心の目を明らかにして下さるように、そして、___が神に召されていて望みがどんなものであるか、___がつぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、信じる___にとっていかに絶大なものであるかを、___が知るに至るように、と祈っている。神はその力をキリストのうちに働かせ、全ての支配、権威、権力、権勢の上におき、また、この世ばかりでなくきたるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれた。そして彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。教会はキリストのからだであって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしているかたが、満ちみちているものに、ほかならない。(エペソ2:17-23)

復活以降のイエス様は、突然現れたり、消えたり、一瞬で遠く離れた場所に現れたり、イエス様がそこにいるというのに、弟子たちは、それをイエス様だと気付かなかつたりと、色々不思議な事がある。この、復活以降のイエス様の現れ方は、現代を生きる私達への現れ方と、全く同じである。復活以降のイエス様は、主にある兄弟姉妹が、二人でも三人でもイエスの名の元に集まっている時、そこがどんなに遠くであれ、いかに鍵を閉じた部屋に隠れていようと、主はそこに来られるのだ。この事は、実際、現代の我々も体験している所である。復活以降のイエス様は、どんな風に我々と接されるのか。エマオへの途上の弟子達に現れて下さった場面から学びたい。

『この日、ふたりの弟子が、エルサレムから七マイル(十一キロメートル余り)ばかり離れたエマオという村へ行きながら、このいっさいの出来事について互に語り合っていた。』(ルカ 24:13-14)
 この日は、週の初めの日、すなわち主日である。そして彼らは、イエス様に関する出来事について、話しあったり論じ合ったりしていたが、二人の目は「さえぎられて(クラテオー)」いた。そこにイエス様は現れた。このクラテオーは、力づくで思いのままにする、握りしめる、という意味であり、つまりこの二人のその時の状態は、信仰者に望ましい「従順」や「明け渡し」とは逆の状態で、イエス様について論じ合っていたのだ。現代の我々も、同じ経験をする。主ご自身が近づいてきているのに、思いも心もクラテオーの状態だと、イエス様が目の前におられるというのに、死と心配に満ちた思いを握りしめ、暗い顔つきで、イエス様に面と向かって、イエス様についての心配ごとや、死の話題をしてしまう。

二人は実際に起こった出来事、すなわち、墓には御体が無かった事や、女達がイエス様と出会った、と言っていた事などを、暗い顔つきで論じた時、主は「ああ、頭の悪い心の鈍い者らよ」と言って諭された。そしてイエス様は、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身について記してある事どもを、説きあかされた。不思議である。「私がイエスだ」と一言言えば、話は簡単に済むであろうに、そうではなく、聖書の話題へと導いたのだ。なぜ、そんな遠回りな事をされたのだろうか。ここに、私達が学ぶべき姿勢がある。現代私達が執りやすがるべきは、目で見たり手で触れたり可能な人間ではなく、御言葉なるイエスなのだ。私達は、自分の思いの「握りしめ」を手放し、御言葉へと耳と心と思いを向けるべきなのだ。

弟子達は、目的地に近づいたのに、彼はさらに先へ行くとしていたので、弟子たちは強いて一緒にいるよう押し留めた。なぜなら、このお方の語る聖書の言葉に、心が燃え出していたからである。それまで彼らの心は、死が、心配が、支配し、主が生きていると言った女達の言う事を、たわごとだと思っていた不信仰な心に、御言葉の種が蒔かれると、死はいのちに、心配は平安へと取って変わって行くのだ。自分の固定概念を一旦置いて、御言葉に耳を傾ける時、いかなる騒動があっても、心が燃えるのだ。

食事の席に着いた時、主ご自身がパンを裂いた。この場合、招いたホストである弟子達が「パンを裂く」というもてなしをするはずなのに、招かれた側の主のほうが、パンを取り、祝福して裂き、手渡して下さった。その時、彼らはハッとしたに違いない。この経験、かつてあった、と。5千人以上の前で、4千人以上の前で、十字架の前の晩において、パンを取り、祝福して裂き、手渡して下さったのは、イエス様であった。主は食べ物のパンだけでなく、物質的・金銭的・精神的な必要を満たすパンを取り、祝福して裂き、私達に手渡して下さる。それが私達に渡された時、確かに主がそこにおられた、と気付くのである。

この弟子達は主だと知って、夜で疲れていたにもかかわらず、歩いてきた11.5キロの道を戻って、弟子達に起きた出来事を伝えた。疲れていても夜であっても、主の良きお方である事を伝えずにはおれないのだ。私達も、日常の内に隠れているイエス様に気付くべきである。彼に御言葉を解き明かされ、豊かに養われるべきである。そして主ご自身からパンを受け取り、主が確かにこの旅路に共におられ、御言葉を示された事を伝えずにはおれなくなる皆さんでありますように、イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(雅歌書)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈禱会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

